SONY®

α33 α55

SLT-A33/SLT-A55V

ここでは、バージョンアップにより追加される機能の紹介や使いかたについて説明します。
本機の「取扱説明書」もあわせてお読みください。

A-E1K-100-**01**(1)

追加される機能

バージョンアップを行うと、下記の新たな機能が追加されます。

モードダイヤルに追加される機能

モードダイヤル	新しく追加される機能	内容
SCN	ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。

メニューに追加される機能

メニュー	新しく追加される機能	内容
3	D-RANGEボタンの機能	D-RANGEボタンに割り当てる機能を設定する。
2	FINDER情報なし設定	ファインダーの撮影情報表示を撮影情報表示オフにした場合の、露出値表示方法を設定する（シャッタースピード、絞り値、測光インジケータ、手振れインジケータ）。
2	メニュー呼び出し先	メニューを表示したときの画面を、常に先頭から表示するか、前回選択した項目を表示するかを選ぶ。

ピクチャーエフェクト

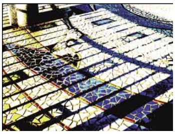
好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影できます。

1 モードダイヤルを SCN（SCN/ピクチャーエフェクト）にする。

2 コントロールボタンの中央を押す。

3 ▲/▼で希望のモードを選び、コントロールボタンの中央を押す。

- 他のエフェクトにしたいときは、Fnボタンを押して選び直す。
- ピクチャーエフェクトのモードは、シーンセレクションの各シーンの後に表示される。

Posポスタリゼーション（カラー）	原色のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。	
Posポスタリゼーション（白黒）	白黒のみで再現されるメリハリのきいた抽象的な仕上がりになる。	
Popポップカラー	色合いを強調してポップで生き生きとした仕上がりになる。	
Rtroレトロフォト	古びた写真のようにセピア色でコントラストが落ちた仕上がりになる。	
Partパートカラー（レッド）	赤色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。	
Partパートカラー（グリーン）	緑色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。	

次のページにつづく↓

パートカラー（ブルー）	青色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。	
パートカラー（イエロー）	黄色のみをカラーで残し、他の部分はモノクロに仕上がる。	
ハイキー	明るく、透明感や軽さ・優しさ・柔らかさを持ったような仕上がりになる。	
ハイコントラストモノクロ	明暗を強調することで緊張感のあるモノクロに仕上がる。	
トイカメラ	周辺が暗く、独特の色合いをもった仕上がりになる。	

ご注意

- ［RAW］［RAW+JPEG］時にピクチャーエフェクトにすると、画質は一時的に［ファイン］になります。
- ［パートカラー］のとき、被写体や撮影環境によっては設定した色が残らないことがあります。
- ISOやクリエイティブスタイルなど、多くの機能がカメラまかせになり設定変更できなくなります。
- シーンセレクションのときは、露出とホワイトバランスの設定は変更できません。ピクチャーエフェクトのときは、設定を変更することができます。

D-RANGEボタンの機能

D-RANGEボタンに、他の機能を割り当てることができます。

MENUボタン→ 📷3→ [D-RANGEボタンの機能] → 希望の設定を選ぶ。

ドライブモード	D-RANGEボタンの割り当てを「ドライブモード」に設定する。
フラッシュモード	D-RANGEボタンの割り当てを「フラッシュモード」に設定する。
オートフォーカスモード	D-RANGEボタンの割り当てを「オートフォーカスモード」に設定する。
フォーカスエリア	D-RANGEボタンの割り当てを「フォーカスエリア」に設定する。
顔検出	D-RANGEボタンの割り当てを「顔検出」に設定する。
スマイルシャッター	D-RANGEボタンの割り当てを「スマイルシャッター」に設定する。
ISO感度	D-RANGEボタンの割り当てを「ISO感度」に設定する。
測光モード	D-RANGEボタンの割り当てを「測光モード」に設定する。
調光補正	D-RANGEボタンの割り当てを「調光補正」に設定する。
ホワイトバランス	D-RANGEボタンの割り当てを「ホワイトバランス」に設定する。
DRO/オートHDR	D-RANGEボタンの割り当てを「DRO/オートHDR」に設定する。
クリエイティブスタイル	D-RANGEボタンの割り当てを「クリエイティブスタイル」に設定する。
SCN/ピクチャーエフェクト	D-RANGEボタンの割り当てを「SCN/ピクチャーエフェクト」に設定する。
スイング撮影	D-RANGEボタンの割り当てを「スイング撮影」に設定する。

FINDER情報なし設定

ファインダーの撮影情報表示をオフにした場合に、シャッタースピード、絞り値、測光インジケータ、手振れインジケータも表示オフにするかどうかを設定します。

- 撮影情報表示の切り換えについては、取扱説明書の「画面の表示」をご覧ください。

MENUボタン→ ✿ 2 → ［FINDER情報なし設定］ → 希望の設定を選ぶ。

✓	**常に表示**	常にシャッタースピード、絞り、測光インジケータ、手振れインジケータを表示する。
	操作時のみ表示	操作時のみシャッタースピード、絞り、測光インジケータ、手振れインジケータを表示する。

メニュー呼び出し先

メニューを表示したときの画面を、常に先頭から表示するか、前回選択した項目を表示するかを選べます。

MENUボタン→ 🔧2 →［メニュー呼び出し先］→ 希望の設定を選ぶ。

	先頭	常に先頭から表示する。
✓	**前回位置**	前回選択した項目から表示する。前回の設定操作をすぐにやり直したいときに便利です。